

特別企画展

The fascinating ceramics
in Momoyama and Edo periods

古唐津 桃山・江戸の華やき 古武雄

KOGARATSU and KODAKEO

2014年 4月12日〔土〕～6月15日〔日〕

愛知県陶磁美術館 本館1階第1・第2展示室

開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）

※4月12日〔土〕は、開会式のため、観覧は午前11時より

休館日 毎週月曜日

（ただし5月5日〔月祝〕、5月6日〔火〕は開館し、
5月7日〔水〕を休館）

観覧料 一般900円（720円） 高校・大学生700円（560円）

中学生以下無料（○内は20名以上の団体料金）



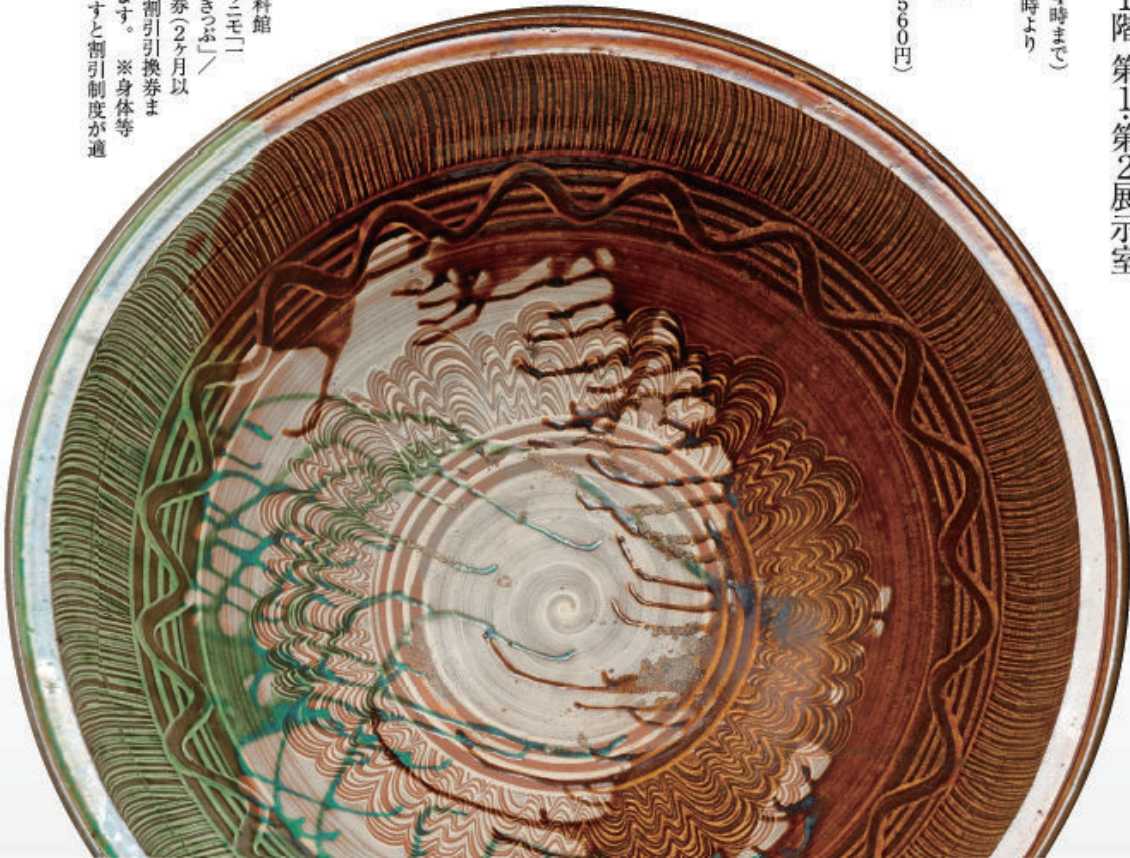
※割引制度 リニモ「藤が丘」愛地球博記念公園「陶磁資料館」
南「八草」各駅に設置の割引チラシリニモ利用者に限る／リニモ「
日乗車券」/名古屋市内交通局「日乗車券」および「ドニチエコミつぱ」/
モリコロパーク駐車場再入場券/名都美術館有料観覧券の半券（2ヶ月以
内）を持参の方は観覧料が2割引となります。 ※チラシ等の割引引換券ま
たはJ-ATA会員証持参の方は観覧料が100円引きとなります。 ※身体等
に障がいのある方および付添者は手帳を受付にて呈示されますと割引制度が適
用されます。 ※各割引制度の併用はできません。

主催 愛知県陶磁美術館

共催 中日新聞社

後援 愛知県教育委員会・愛知高速交通株式会社（リニモ）

作品 上：重要文化財「鉄絵柿文三耳壺（絵唐津）」肥前唐津桃山時代 出光美術館蔵 下：絵柄箱櫛目文大平鉢「肥前武雄江戸時代」個人蔵



愛知県陶磁美術館
セラミアム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM



古唐津 古武雄

桃山・江戸の華やき

特別企画展



1.重要文化財「鉄絵芦文大皿(絵唐津)」肥前・唐津 桃山時代 国(文化庁)保管/2.「兼灰軸壺(唐津津)」肥前・唐津 桃山時代 佐賀県立九州陶磁文化館蔵/3.「墨灰軸壺洗掛耳付壺(朝鮮唐津)」肥前・唐津 桃山時代 出光美術館蔵/4.佐賀県重要文化財「鉄絵緑彩松樹文大平鉢」肥前・武雄 江戸時代 個人蔵/5.武雄市重要文化財「鉄絵緑彩岩松樹文壺」肥前・武雄 江戸時代 個人蔵/6.武雄市重要文化財「打ら樹毛目花文大平鉢」肥前・武雄 江戸時代 個人蔵/7.「緑釉樹目文双耳花生」肥前・武雄 江戸時代 個人蔵/8.「古唐津 酒器揃い」肥前・唐津 桃山時代 個人蔵/背景:「鉄絵文陶片(絵唐津)」肥前・唐津 桃山時代 出光美術館蔵

桃山期(16世紀末～17世紀初頭)に九州の肥前(現在の佐賀県西部及び長崎県北部)を中心に焼かれた「古唐津」は、長く日本において愛されてきました。基本的にはモノトーンで表されるのびやかな装飾は、いまでも多くの人を惹きつけてやみません。

そして、江戸時代前期(17世紀前半)から19世紀にかけて武雄地域で「古武雄」というやきものが作られました。生き物のように躍動する松、今にも飛び立とうとする鶴、釉を掛け流しただけの力強い文様…器をキャンパスに、様々な技法を用いて、大胆な文様を絵画のごとく描いたこれらの陶器は、現在、その魅力と歴史的重要性が再評価されています。

日本各地の江戸時代の遺跡から多く出土する「古武雄」は、これまで唐津焼の日用品として位置づけられていました。しかし、東南アジアでの出土が確認され、輸出されていたことも分かってきました。さらには、豪快な筆使いの魅力と現代アートにも通じる斬新な文様にますます注目が集まっています。

本展では、「古唐津」と「古武雄」の名品を選びすぎて展示し、それぞれの魅力を紹介します。なお、「古武雄」がこれほどまとまった形で公開されるのは、中部地方では初めてです。

KOGARATSU and KODAKEO The fascinating ceramics in Momoyama and Edo periods

関連イベント

■記念講演会I「鼎談会

「古武雄を知る ―その歴史的展開、そして魅力」
日時: 4月12日[土] 午後1時30分～3時30分
講師: 中島宏 氏 (重要無形文化財保持者)
東中川忠美 氏 (前佐賀県立名護屋城博物館 館長)
仲野泰裕 氏 (前愛知県陶磁美術館 副館長)
会場: 本館地下講堂
※事前申込不要・入場無料

■記念講演会II「古唐津の楽しみ方」

日時: 4月26日[土] 午後1時30分～3時
講師: 荒川正明 氏 (学習院大学教授)
会場: 本館地下講堂
※事前申込不要・入場無料

■記念講演会III「スペシャルギャラリートーク

「古唐津を知る ―肥前陶器のながれ」
日時: 5月24日[土] 講演会 午後1時30分～2時30分
ギャラリートーク 午後3時～(30分程度)
講師: 徳永貞昭 氏 (佐賀県立九州陶磁文化館 学芸課主幹)
会場: 本館地下講堂および展示室
※事前申込不要・入場無料
(ただしギャラリートーク参加には観覧券が必要)

■特別鑑賞会「触れて楽しむ古唐津 ―陶片の魅力」

日時: 4月27日[日] 午後1時30分～3時
講師: 荒川正明 氏 (学習院大学教授)
会場: 本館展示室および展示説明室
※事前申込制(参加には観覧券が必要)
(お申し込み方法等は、当館公式ウェブサイトをご覧ください)

■当館学芸員による展示解説

日時: 4月19日[土]・5月3日[土]・5月17日[土]・
5月31日[土]・6月14日[土]
いずれも午後1時30分～(1時間程度)
※事前申込不要・参加無料(ただし観覧券が必要)

同時開催のテーマ展示

寄贈記念

世界をみる眼 古陶磁とガラス: 西垣千代子コレクション

4月26日[土]～6月15日[日]
本館1階 特別展示室
主催: 愛知県陶磁美術館



「青釉ロークス文鉢」イラン
バルティア(前3～後3世紀)

レストラン「とうじ」 展覧会コラボランチ

展覧会会期中限定で、展覧会コラボランチをご用意しております。※数には限りがあります ※土・日・休日のランチタイム(午前11時～午後2時)限定となります

県民茶室「陶翠庵」特別企画

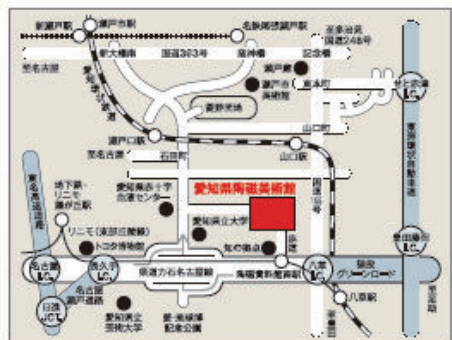
展覧会会期中、加藤藤九郎と荒川豊蔵の唐津茶碗が登場します。また、誕生月の作家の茶碗も通常どおりお楽しみいただけます。(午後4時オーダーストップ)

瀬戸市内の展覧会

■瀬戸市美術館 特別展「田中良和展」/特別展「古瀬戸の全貌 ―瀬戸焼の黎明と発展―」4月19日[土]～6月1日[日] TEL: 0561-84-1093 ■瀬戸市新世紀工芸館 企画展「瀬戸染付の今」4月2日[水]～6月22日[日] TEL: 0561-34-1093 ■瀬戸蔵ミュージアム 企画展「陶祖伝 ―陶祖伝記とその時代―」4月19日[土]～6月1日[日] TEL: 0561-97-1190 ■瀬戸染付工芸館(平成26年度4月1日から館名変更) 企画展「瀬戸染付名品展」4月2日[水]～6月30日[月] TEL: 0561-89-6001

次回展覧会のお知らせ

企画展「魅惑の陶製人形
～ノベルティ、人物俑、はにわ、土人形、フィギュリン～」
2014年6月21日[土]～8月17日[日]



リニモ「陶磁資料館前」駅から徒歩600m 名鉄バス(土・日・休日のみ運行) 名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から「愛・地球博記念公園」駅行き「陶磁美術館」下車 自家用車(駐車場無料・250台収容) 東名高速道路「日進」JCT. 経由、名古屋瀬戸道路「長久手I.C.」から瀬戸方面に約5km/東名高速道路・名二環道「名古屋I.C.」から瀬戸・豊田・足助方面に約10km/東海環状自動車道「せと赤津I.C.」から長久手方面に約7km タクシー 地下鉄東山線リニモ「藤が丘」駅から約20分/名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約15分

愛知県陶磁美術館 セラミウム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL 0561-84-7474 FAX 0561-84-4932
当館公式ウェブサイト <http://www.pref.aichi.jp/touji>

割引引換券 100円割引

一般 900円▶800円/高生 700円▶600円/中学生以下無料
本券1枚につき1名。上記割引料金をご観覧いただけます。他の割引とは併用できません。

割引引換券 100円割引

一般 900円▶800円/高生 700円▶600円/中学生以下無料
本券1枚につき1名。上記割引料金をご観覧いただけます。他の割引とは併用できません。

割引引換券 100円割引

一般 900円▶800円/高生 700円▶600円/中学生以下無料
本券1枚につき1名。上記割引料金をご観覧いただけます。他の割引とは併用できません。